

第1章 調査の経過

第1節 調査にいたる経緯

1 調査に至る経緯

北塩原村には、中世から近世にいたる歴史のなかで築かれた城館跡や街道、鉾山遺跡などが良好な状態で残されている。ただ戦後省みられることは少なく、埋もれていた城館等遺跡の確認に取り組んだのは北塩原村郷土史研究会の方々であった。今に知られる文化財の多くは、昭和50年代以降、志ある人々の熱意により明らかにされてきた。昭和61年度は北塩原村教育委員会で文化財の村指定が初めて行なわれ、柏木城跡をはじめ村内の文化財保護の礎が築かれた。

平成19年には、村は会津古城研究会代表の石田明夫氏に依頼して、『会津路武士の世の裏磐梯 米沢街道－葦名と伊達の攻防譜』を刊行した。平成20年には『北塩原村史』を刊行し、城館跡を含めた遺跡に関して現況をまとめ、文献からも北塩原村の歴史が叙述されている。また、同年には大河ドラマ「天地人」ゆかりの旧米沢街道でウオーキングイベントをおこない1,700人を超える参加者があった。これにより従来からの村の観光の目玉である裏磐梯の自然と共に、綱取城跡、柏木城跡、桧原（小谷山）城跡、戸山城跡などの城館跡や、桧原金銀山跡、米沢（会津米沢）街道といった村の各地に点在する豊かな歴史遺産が再認識されるにいたった。

北塩原村では、文化財を保存し、地域住民によるふるさとの歴史学習や観光などの面で活用を模索すべく、城館や考古学、文献研究を中心とした有識者による委員会を立ち上げ意見を求めるものとした。

2 検討委員会設立

平成20年度には、第1回「北塩原村城館跡保存整備計画策定委員会」が開かれた。事務局を教育委員会におき、委員の構成や開催日等は後述のとおりである。第1回委員会では、当面の調査対象を「綱取城跡、柏木城跡、桧原（小谷山）城跡、戸山城跡」とし、戦国大名蘆名氏と伊達氏とその領域の境目でせめぎ合う歴史的背景を踏まえた保存、整備について検討を行い、必要な調査を行ったうえで県指定・国指定史跡を目指すことが提言された。

次の平成21年度の委員会では、柏木城跡の現地踏査を行った。範囲が広く、遺存状態がよいことが確認され、地形測量や見学時のルート作り、調査報告書の必要性が指摘された。また委員会開催に先立って事務局は、同年9月に地元の理解を得るべく大塩地区及び大久保地区の地権者に対して説明会を実施した。

そして、平成22年度の委員会では、これまでの北塩原村城館跡保存整備策定委員会での話し合いを踏まえ、新たに「北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会」を立ち上げ、城館等の保存・整備・活用についてより踏み込んだ議論をおこなっていくものとした。

第2節 調査の経過 ー北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会ー

1 調査の目的

北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会は、村内を通る米沢道（旧街道）沿いに点在する蘆名氏と伊達氏が築いた城館跡や諸鉾山に関連する遺跡、さらには北塩原村を舞台に繰り広げられた奥羽の覇権を賭けた戦いの歴史に係わる遺跡等を一体のものとして確実に保存し、整備・活用していくための方法等について、指導や助言を受けるために設置された組織である。

村は、測量や文献等のデータを収集し、散策ルートや説明看板の整備や説明会を行うことで城館跡や旧街道など歴史的価値の高い遺跡に触れる場所・機会として活用するとともに、史跡指定に向けた取り組みをおこなっていくことを基本方針とした。そして、引き続き地元住民に理解を求めていくこと、最初に柏木城跡から調査や整備、活用を進めることとされた。柏木城跡については、規模の把握や、大塩地区から主郭虎口への登城路、馬出などについて現地での十分な調査を行うこと等が委員会の目的である。

2 北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会

平成23年度の第1回検討委員会は、5月の雪解けを待って柏木城跡の現地踏査をおこなった。石垣（石積）の保存状態が良好であり、東北地方南部における石垣（石積）技術の発達過程を示す重要な遺跡であることが確認されるとともに、そうした石垣（石積）などの遺構を見やすくするために、上面に積もった土の除去や刈り払い、見学ルート策定の必要性が指摘された。

第2回検討委員会では、現地踏査の折、虎口付近の雑木伐採による視認性向上や、主郭からの若松・大塩方向の景観確保、発掘調査による遺構の把握、登城路確認の必要性などについて指摘された。各委員からは、「境目の城」か、あるいは境目と本城との中間である「番城」なのかという点や、巨大な城という表現、石垣という呼称について疑義・指摘がなされ、今後検討することとなった。また、鈴木啓委員長により、柏木城跡中心部の重要遺構を通る形で見学路案が示されるとともに、委員会での共通認識を深め、その内容を報告書としてまとめることが提案された。

平成24年度の第1回検討委員会では、報告書の内容が検討された。村に文化財担当の専門職員が配されていないため、異例なことではあるものの各委員の方々に報告書用原稿を執筆・編集していただくこととなった。その際、柏木城に関する委員会の確認事項として

- ・ 柏木城の性格については、「番城」「境目の城」という認識を持つ。
- ・ 柏木城の範囲については、a：従来の絵図などで知られる範囲と、b：aから東・西・北に大きく広がる石田明夫委員が作図した範囲がある。aの範囲について柏木城跡中心部とする点について異議はないこと。bの範囲すべてを現状で委員会の意見とすることには慎重を期し、今後さらに調査を行い、柏木城跡の広がりを確認するものとする。
- ・ したがって、「巨大な城」という表現については使用しないこととする。
- ・ 「石垣」については、裏込め石のある石垣が近世城郭では使用されるが、柏木城跡のものは裏込石が使用されないものと見られることから、これを「石積み」と呼ぶようにする。
- ・ 柏木城が描かれた絵図については、同じく城郭を描いた絵図や周辺地区を描いた絵図などとの比較や紙質の検討など、より詳細な調査をおこなうことで、絵図の年代を含めて判明すること

がある。

- ・ 保存・活用・整備にあたっては中心部分（上記a）から実施し、周辺は調査を行いながら検討する。
- ・ 主要な場所に標高を含めた説明版を配す。
- ・ 門や建物など建造物の復元については、いきなりおこなわず、将来発掘調査等を実施した上で検討する。

等が申し合わされた。

第2回検討委員会では、高橋明委員による「柏木城の沿革」に関する文献の研究成果を報告頂き、その内容は本報告書関連調査の報告2として掲載させていただいた。築城時期に関しては、従来の史書から天正12年とされることがほとんどであったが、天正12年から13年の伊達氏、蘆名氏の動静を文献資料から詳らかに論じ、天正13年夏築城の可能性について論及している。

築城年代に関しては、他に各委員からの意見として、塹堀の存在から永禄年間築城の可能性や、帯曲輪があることから同様に天正をややさかのぼる可能性もあること、廃城に関しては摺上の戦いで伊達政宗が蘆名氏を破ることで境目の城としての機能が失われる天正17年とするのがおおむね妥当との見解に至った。

また、佐藤一男委員からは松原鉾山に関する報告をいただいた。松原地区にある鉾山や文化財に関する報告であった。なお、柏木城跡の報告書については石田副委員長と長島委員が中心にまとめていくこととなった。

第3回検討委員会では、石田明夫委員による柏木城跡の縄張図にもとづき説明があった。内容については本報告書関連調査の報告1「柏木城について」に掲載させていただいた。

柏木城跡報告書については、対象を柏木城跡中心部分とし、再度現地確認を行い報告書記述内容の検討をすることを確認した。

平成25年度第1回検討委員会では、柏木城跡現地にて、各遺構の呼称や状況について確認した。また報告書については、石田副委員長に編集等を担当していただいていたが、本年より村教育課の担当が引き継ぐこととなった。

第2回検討委員会では、村事務局が柏木城跡報告書の素案を示し、その内容について検討が行われた。本報告書については現段階におけるまとめであり、内容は今後とも調査研究を進めつつ検討されていくべきものであることとした。佐藤一男委員の鉾山に関する報告については松原地区の文化財報告書作成の際に掲載を検討させていただくこととなった。

北塩原村文化財調査報告3 『柏木城跡』ー北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会の記録ーは平成26年3月31日に刊行となった。



図1 北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会のようす

3 北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会の構成

委員長	鈴木 啓	考古学・城館	福島県考古学会顧問、北日本近世城郭検討会会長
副委員長	石田明夫	考古学・城館	会津若松市東公民館主幹、会津古城研究会会長
委員	高橋 明	中世史	元郡山市文化財保護審議会会長
委員	佐藤一男	鉾山史	金属鉾山研究会員、産業考古学会員
委員	長島雄一	考古学	福島県教育庁文化財課 副課長兼専門文化財主査
委員	高橋 充	中近世史	福島県立博物館 専門学芸員
委員	五十嵐怜	郷土史	村文化財保護審議委員 (～平成24年度)

(役職名は平成26年3月現在)

4 委員会一覧

《北塩原村城館跡保存整備計画策定委員会》

平成20年度第1回	平成20年9月15日	旧大塩幼稚園
平成21年度第1回	平成21年12月7日	北塩原村公民館
平成22年度第1回	平成23年2月2日	北塩原村コミュニティーセンター[柏木城跡現地調査]

《北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会》

平成23年度第1回	平成23年5月31日	北塩原村公民館[柏木城跡現地調査]
平成23年度第2回	平成23年10月10日	旧大塩幼稚園[柏木城跡現地調査]
平成24年度第1回	平成24年7月25日	旧大塩幼稚園
平成24年度第2回	平成24年11月11日	北塩原村公民館
平成24年度第3回	平成25年3月9日	北塩原村公民館
平成25年度第1回	平成25年5月26日	北塩原村公民館[柏木城跡現地調査]
平成25年度第2回	平成26年2月24日	北塩原村公民館